

群馬大学大学院理工学府分子科学部門 教員公募

1. 職 名 教授
2. 募集者名称 国立大学法人群馬大学
3. 所 属 大学院理工学府 分子科学部門
(理工学部 物質・環境類 応用化学プログラム)
4. 業務内容 研 究
 - ・ 物理化学分野の研究
 - ・ 光化学を基盤とする生体医工学関連材料の研究開発教 育
 - ・ 大学院・学部学生に対する教育・研究指導
 - ・ 担当授業科目
(学部) 学びのリテラシー(1)、物理化学Ⅰ、物理化学Ⅱ、物質・環境基礎実験、課題発見セミナー、応用化学演習Ⅳ、課題解決セミナー、プロジェクト参加研究 等
(大学院) 分子動力学特論、理工学特別演習、理工学特別実験、光化学特論、理工学専攻リサーチプロポーザル、国際インターンシップなど管理運営・社会貢献
 - ・ 理工学府の管理運営に関する業務
 - ・ 理工学府、物質・環境類が進める(社会貢献活動)への参画・協力
5. 勤 務 地 桐生市天神町 1-5-1 桐生キャンパス
6. 募集人数 1 名
7. 採用予定日 令和 7 年 4 月 1 日(以降のなるべく早い時期)
8. 専門分野 大分類：ナノテク・材料
小分類：基礎物理化学
小分類：ケミカルバイオロジー

大分類：ライフサイエンス
小分類：薬系分析、物理化学
小分類：腫瘍診断、治療学

9. 任 期 5 年

任期中に業績評価・審査を行い、適任となった者は任期の定めのない教員として雇用する。定年は満 65 歳の年度末とする。

10. 応募資格 次のいずれも満たす者

- (1) 博士の学位を有する方、あるいは着任までに取得予定の方
- (2) 物理化学又は生体医工学関連分野における優れた研究業績を有し、熱意と意欲を持って学生の教育と研究指導ができる方
- (3) 社会貢献業務、学部運営業務等に積極的に関われる方

11. 給 与 年俸制適用 退職手当あり

本学教職員就業規則及び 2 号年俸制適用教員給与規則に基づき、学歴・職務経験を考慮し基本給を決定

ほか通勤・住居・扶養等の諸手当及び昇給制度あり

教職員就業規則

https://www.gunma-u.ac.jp/kisoku/pdf/chap_02/sec_0220/022010.pdf

2 号年俸制適用教員給与規則

https://www.gunma-u.ac.jp/kisoku/pdf/chap_02/sec_0220/022085.pdf

12. 就業時間 8 : 30 ~ 17 : 15 を基本として、専門業務型裁量労働制を適用

(1 日 7 時間 45 分働いたものとみなす)

13. 試用期間 6 か月

14. 休日・休暇 土・日、祝日法に基づく休日、年末年始(12 月 29 日 ~ 1 月 3 日)

年次有給休暇、特別休暇等

15. 社会保険等 文部科学省共済組合、厚生年金、雇用保険、労災保険

16. 受動喫煙防止措置の状況 敷地内禁煙(ただし、屋外指定箇所に喫煙場所設置)

17. 応募締切 令和 6 年 8 月 23 日必着

18. 提出書類 (1) 教員個人調書(本学所定様式)

(2) 教育研究業績書(著書・学術論文等の総括表を含む)(本学所定様式)

(3) 科学研究費補助金等の受給状況(本学所定様式)

(4) その他の履歴・業績等(本学所定様式)※該当がある場合

(5) 査読つき学術論文 10 編程度の別刷りまたはコピー

- (6) これまでの研究概要 (2,000 字程度)
- (7) 着任後の研究と教育に関する抱負 (2,000 字程度)
- (8) 参考意見を伺える方 (2 名) の氏名と連絡先

19. 書類送付先 〒376-8515 群馬県桐生市天神町一丁目 5-1
群馬大学理工学府物質・環境類 応用化学プログラム長 網井 秀樹
簡易書留にて「応用化学プログラム物理化学分野教員応募書類」と朱書きの
うえ、郵送願います。
なお、提出書類は原則として返却いたしません。

20. 選考内容 書類選考の上、合格者に対し面接（プレゼンテーションなど）を実施
面接等実施に伴う旅費・宿泊費等の諸経費は応募者負担

21. 問い合わせ先 群馬大学理工学部物質・環境類 応用化学プログラム 網井 秀樹
電話:0277-30-1280
e-mail: amii@gunma-u.ac.jp

22. そ の 他

- (1) 応募書類に記載された個人情報、本選考以外の目的には使用しません。
- (2) 群馬大学は男女共同参画・ダイバーシティの推進による多様な人材の活用を進めており、業績（研究業績、教育業績、社会的貢献等）及び人物の評価において同等と認められた場合には、積極的に女性を採用します。
なお、女性研究者等に対する支援制度については、こちらをご参照ください。
(リンク先: https://kyodo-sankaku.gunma-u.ac.jp/support_links/)
- (3) 若手、外国人若しくは海外経験のある日本人の採用を積極的に行います。
- (4) 若手研究者（採用年度の年度末年齢 39 歳以下）、女性研究者、外国人研究者については、研究環境を整備するための支援として、着任時に、スタートアップ経費を配分します。